

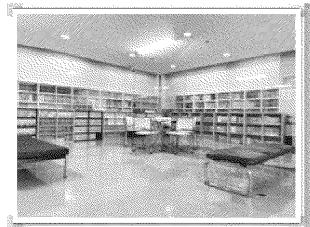


漫画は日本的一大エンターテインメントに成長し、国内のみならず世界中の人々に愛されています。今回は、そんな漫画の歴史を発信するさいたま市立漫画会館と、さいたま市にゆかりのある、日本初の職業漫画家・北沢楽天についてご紹介します。

漫画会館とは

漫画会館は、昭和41（1966）年11月に、日本初の公立の漫画美術館として開館しました。日本の近代漫画の礎を築いた北沢楽天の作品や遺品の展示・保存、漫画を文化として育てることを目的としています。この場所は、楽天が晩年を過ごした住居「楽天居」の跡地で、彼の没後、妻・いのによって作品や遺品とともに旧大宮市へ寄贈されました。

2階にある漫画資料室では、漫画会館が収蔵している約5,000冊の漫画に関する資料や漫画単行本を読むことができます。老若男女を問わず楽しめる漫画がそろっており、漫画好きの利用者が一日じゅう過ごすこともあるそうです。



2階 漫画資料室

館内の様子

1階には、常設展示室と企画展示室があります。常設展示室では、楽天の風刺漫画の作品だけでなく、楽天が制作した日本画や陶磁器、楽天の業績や写真なども展示しています。企画展示室では、楽天の作品はもちろんのこと、さいたま市出身の漫画家・ひぐちアサなどの作品や、漫画コンテスト「北沢楽天漫画大賞」の入選作品といった期間限定の展示を行います。



1階 企画展示室

北沢楽天漫画大賞

漫画会館が主催する「北沢楽天漫画大賞」は、昭和61（1986）年に始まり、今年で第34回を迎えた、国内最長の公募型の漫画コンテストです。

課題作品と自由作品の2部門があります。昨年は、国内外から約800作品の応募がありました。

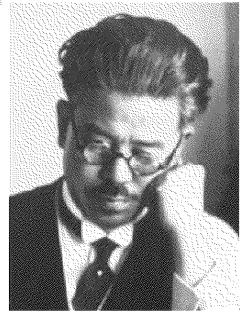
今年の入選作品の展覧会が、令和元（2019）年12月7日（土）から令和2（2020）年2月11日（火・祝）まで、企画展示室で開催される予定です。

また、昨年までの入選作品の一部は、さいたま市Webサイト（<https://www.city.saitama.jp/>）に掲載されています。

※ 今年度の作品の募集は、9月5日（木）で締め切りました。

近代漫画の祖・北沢楽天

北沢楽天（本名：保次）^{やすじ}は、明治9（1876）年に大宮宿の旧家・北沢家の四男として誕生し、幼いころから西洋画の基礎を学びました。明治28（1895）年、横浜居留地で外国人向けの新聞を発行してい



たボックス・オブ・キュリオス社に採用され、オーストラリア人のナンキベルから英國式の風刺画の技法を学んで、才能を開花させていきました。

明治32（1899）年、福沢諭吉が創刊した『時事新報』を発行する新聞社に入社した樂天は、明治35（1902）年には新設された「時事漫画」欄を任せられ、政治風刺画だけでなく連載コマ漫画といったアメリカの影響を受けた作品を次々と発表して、人気を博しました。

明治38（1905）年、樂天はさらなる自由な表現を求めて、日本初のカラー漫画雑誌『東京パック』を創刊し、漫画雑誌ブームを引き起こしました。同紙は日本語、英語、中国語が併記され、朝鮮、中国大陆、台湾でも販売されて、アジアにも影響を与えます。

その後、古巣の『時事新報』に戻った樂天は、大正10（1921）年、日本初の新聞日曜漫画付録『時事漫画』を創刊しました。読者に愛される強烈な個性をもったキャラクターを生み出し、中でもお転婆な女の子「とんだはね子」を主人公とした連載漫画は、

少女漫画の先駆けとなります。また、当時欧米諸国で流行していたクロスワードや懸賞クイズなどの企画を積極的に紙面に取り入れ、読者を飽きさせませんでした。

昭和7（1932）年、これまで30年漫画を描き続けてきた時事新報社を退社し、昭和23（1948）年には北沢家ゆかりの地・大宮（現・北区盆栽町）に「樂天居」をかまえました。昭和30（1955）年、樂天は79歳でこの世を去ります。

樂天は、その生涯で、多くの漫画家を弟子として育てました。また、手塚治虫が樂天の漫画を読んでキャラクターの描き分け方に影響を受けたと語っていることからも、日本の漫画の歴史における樂天の存在感の大きさがうかがえます。

【さいたま市立漫画会館】

〒331-0805

さいたま市北区盆栽町150

TEL 048-663-1541

FAX 048-667-4921



開館時間：9時～16時30分

（漫画資料室の利用時間は、土曜日・

日曜日、祝日、夏休みの10時～16時）

入館料：無料

休館日：月曜日（祝日の場合は開館）、

祝日の翌平日、年末年始

○参考図書

- 『さいたま市立漫画会館』 さいたま市立漫画会館 2002年
- 『さいたま市立漫画会館－近代漫画の父北沢楽天ゆかりの美術館－』 さいたま市立漫画会館 2012年
- 『楽天漫画集大成 明治編』 北沢楽天／著 北沢楽天顕彰会／編 グラフィック社 1974年
- 『楽天漫画集大成 大正編』 北沢楽天／著 北沢楽天顕彰会／編 グラフィック社 1973年
- 『楽天漫画集大成 昭和編』 北沢楽天／著 北沢楽天顕彰会／編 グラフィック社 1976年
- 『北沢楽天－日本で初めての漫画家－』 北沢楽天顕彰会／編著 さきたま出版会 2019年
- 『日本漫画100年－西洋ポンチからSFまで－』 須山計一／著 芳賀書店 1968年
- 『マンガ誕生－大正デモクラシーからの出発－』 清水勲／著 吉川弘文館 1999年
- 『日本新聞漫画史』 伊藤逸平／著 造形社 1980年
- 『マンガの歴史1』 みなもと太郎／著 岩崎書店 2017年
- 『図説漫画の歴史』 清水勲／著 河出書房新社 1999年
- 『手塚治虫 漫画の奥義』 手塚治虫 石子順／著 講談社 1992年
- 『世界にはばたく日本力－日本のマンガ・アニメー』 こどもくらぶ／編さん ほるぷ出版 2012年